

# BIPROGY 教育サービス コースご案内

コース名	要件定義の実践	オンライン	集合
概要	ソフトウェア開発技術に必要な「顧客の要件を正しくとらえ定義することの出来るスキル」を修得します。要件を定義していくための実践的な方法として、システムのコンセプトをペルソナ/シナリオ法で導き出すことから始め、業務フローやコンテキスト図などを用いてより詳細なTo-Beを把握し、それらを利用してユースケースを導き出すことでシステム要件を明確にし、仕様へと落とし込んで行くことを学びます。		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・開発で役立てられるよう、要件定義の手順と手法を理解できるようになります。</li><li>・HCD(人間中心設計)に基づいたシナリオによるシステムの表現方法が学べます。</li><li>・業務フローやコンテキスト図からユースケースを導き出し、正しく記述できるようになります。</li><li>・ユースケースを用いた見積もりや進捗管理ができるようになります。</li></ul>		
対象者	<ul style="list-style-type: none"><li>・要求事項を整理し分析される方</li><li>・要件定義書を作成する方や変更をされる方</li></ul>		
前提知識	<ul style="list-style-type: none"><li>・システム開発の経験において、物理設計や論理設計をした経験がある方</li><li>・オブジェクト指向言語のプログラム経験とUMLの基礎知識がある方</li></ul>		
期間	2日間(7時間/日)		
内容	<ol style="list-style-type: none"><li>1) 要件定義の概要</li><li>2) 要件定義での教訓</li><li>3) 要求工学概要</li><li>4) 要件定義<ul style="list-style-type: none"><li>・現状把握 システムのコンセプトを明確にし、To-Beを詳細化する</li><li>・要求獲得 ユーザから要求を引き出す</li><li>・要求仕様化 要件をユースケースで表現し、仕様へと落とし込む</li><li>・要求検証 要件の誤りをなくす様々な検証方法</li></ul></li><li>5) 要求の管理<ul style="list-style-type: none"><li>・見積もり ユースケースポイント法で見積もる</li><li>・進捗管理 ユースケースを使って進捗を管理する</li><li>・変更管理 要件の変更を管理する</li></ul></li></ol>		
備考	オンライン研修実施可能です。		

